

1.単旋律聴音課題



- ①タイ…小節線を跨ぐタイです。テンポを見失わないように気をつけましょう。
- ②臨時記号1…a mollの旋律短音階の変化です。
- ③転調…Cが#となり、d mollに転調しています。d mollであるならHがリとなるはずですが、こ
も②と同様に、旋律短音階のためH（ナチュラル）となっています。
- ④臨時記号2…第2音が半音下がることで、ナポリの6となっています。
- ⑤リズム…シンコペーションの書法です。

2.複旋律聴音課題



- ①臨時記号…下行しているのでGesにしがちですが、Fisが正解です。（属音は通常半音下げることができません。）調性としてはFisになることで属調であるG durに経過的に転調していることがわかります。これをドッペルドミナントと呼びます。
- ②和音…主和音の第5音がバスであり、第2転回形となっています。響きの特徴を捉えましょう。
- ③非和声音…バスの主音上に、旋律は導音から遅れて主音に解決しています。音のぶつかりを感じま
しょう。

3.和音聴音課題



- ①臨時記号…複旋律の課題の時と同様、Fisが正しい音です。低音がG→Fis→F（ナチュラル）→Eと
いう半音階による進行をしていることも留意してください。
- ②和音1…Eの音が省略されていますが、減七の和音です。d mollに転調していることがわかります。
- ③和音2…Dの音が省略されていますが、属七の和音です。主調に戻っていることがわかります。
和音一つ一つの響きに慣れたら、和音の進行も感じるようになるよう心がけましょう。